

まちづくり交付金 事後評価シート
染屋台地区

平成21年3月

長野県上田市

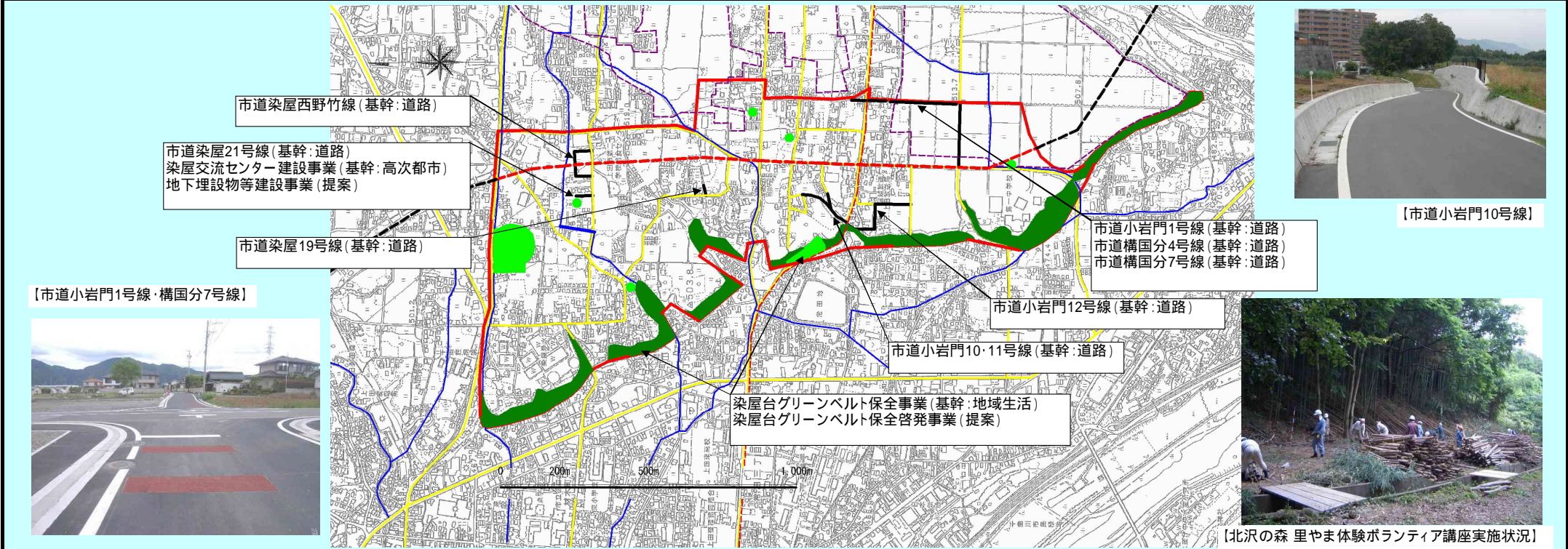
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	上田市		地区名	染屋台地区			面積	121ha	
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	487	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	市道構国分4号線、市道小岩門10号線、市道小岩門11号線、市道小岩門12号線、市道染屋19号線(第1工区)、市道染屋西野竹線、染屋台グリーンベルト保全事業								
			提案事業	染屋台グリーンベルト保全啓発事業								
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	市道染屋19号線(第2工区)			国へのアロケーションの費用負担が不要となったため			削除による目標、指標、数値目標への影響なし		
			提案事業	なし								
新たに追加した事業		基幹事業	市道染屋21号線、市道小岩門1号線、市道構国分7号線、染屋交流センター建設事業			市道小岩門1号線、市道構国分7号線…安心・安全な生活道路の整備のため追加、染屋交流センター建設事業…地域コミュニティの創出を図るため追加、市道染屋21号線…染屋交流センター建設に伴い追加			追加による目標、指標、数値目標への影響なし			
		提案事業	地下埋設物等建設事業			染屋交流センター建設に伴い追加			追加による目標、指標、数値目標への影響なし			
交付期間の変更		当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	地区内定住人口	人	2,445	平成12年度	2,582	平成20年度		2,585	あり なし	道路網の整備や染屋交流センターの建設を実施したことにより、住環境の整備が促進され、その結果として地区内定住人口の増加につながった。	平成21年4月頃
	指標2	交通事故件数	件/年	25	平成15年度	20	平成20年度		17	あり なし	上田ハイパス(第2期工区)の建設にあわせ、地区内の生活道路の改善を行った結果、交通事故発生件数を抑制することが出来た。	平成22年4月頃
	指標3	歩道整備済延長	m	1,500	平成15年度	3,770	平成20年度		5,230	あり なし	本事業の他に実施された、上田ハイパス第2期工区及び主要地方道小諸上田線の整備により歩道の確保を図ることが出来た。	平成21年4月頃
	指標4									あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	里やま体験ボランティア講座 染屋台グリーンベルト保全のための啓蒙活動			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き染屋台グリーンベルトの緑地保全につながるよう事業は継続していく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	「北沢の森」の整備・維持管理を継続的に行っていくための市民ボランティアのしくみづくり			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き講座を実施し、維持管理技術の習得、人材育成、組織づくりをはかっていく。			

様式2 - 2 地区の概要

染屋台地区(長野県上田市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
一般国道18号上田バイパス(都市環状道路)第2期工区の整備に伴い、安全で快適な生活空間とコミュニティを創出し、あわせて防災機能の強化を図る。	地区内定住人口	単位: 人	2,445 H12	2,582 H20	2,585	H20
	交通事故件数	単位: 件/年	25 H15	20 H20	17	H20
	歩道整備済延長	単位: m	1,500 H15	3,770 H20	5,230	H20
		単位:	H	H		H
		単位:	H	H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の新築・改良を行った結果、バイパス整備後の交通量増加にも対応できる状況となった。また、分断される地域の交通アクセスの改善を行った結果、住民生活の支障を低減することにつながった。 染屋交流センターを建設することにより地域コミュニティの創出を図ることが出来た。 ボランティア作業を通じて、荒れた里山の整備がされ、今後の維持管理の技術の習得が図られた。山林地権者とボランティアとの交流や地元自治会を中心に住民の交流が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 上田バイパス供用に伴い生じる変化に対応できるように、引き続き市道の新築・改良の整備を進めていく必要がある。 地域コミュニティ形成の拠点となるよう、染屋交流センターを活用していく必要がある。(地域住民を対象としたイベントの開催、生涯学習などの施設活用) 継続してグリーンベルトの維持管理を行っていきけるよう、関係諸団体と調整を図っていく必要がある。また、そのために都市緑地法による緑地保全制度の導入も検討していく必要がある。